

ゆがわらっこ vol.1

今月号から、町内小・中学校の生き生きとした子ども達の様子を紹介していきます。
スタートにあたる今回は、各学校の学校目標や特色を取り上げました。
湯河原の将来をたくす子どもたちの成長に大きな声援をお願いします。



東台福浦小学校

児童数 184人(男子95人/女子89人)



篠原通夫校長

めざす学校像

思い合う心を持ち、児童も職員も安心して学び、成長できる学校をめざしています。

「あ・い・う・え・お」の学校

あ:あいさつがしっかりできる学校
い:いじめのない学校
う:うつくしい学校
え:えがおがあふれる学校
お:おもいあうところをもった学校

を合い言葉に日々取り組んでいます。

学校の重点課題として、

(1)地域に必要とされる学校として

- ①地域の方々にゲストティーチャーとして読み聞かせ・クラブ活動・英語活動・音楽・生き物飼育・栽培活動などに参加していただいております。
- ②お茶摘み体験・漁船体験・みかん園訪問・老人ホーム訪問など地域の自然や産業の良さを生かした学習を行っています。
- ③青少年指導員、六彩会、川堀学びの会、明青会などボランティアの方々による講座を体験し、ふれあい活動を行っています。

(2)チームの教育による学校として、

- ①自ら考え、友達から学び、お互いに響き合う学習をテーマに国語科を窓口として校内研究をしています。
- 年間2回の授業研究
- 養護教諭や栄養士による授業
- ②教師の持つ特性を生かし担任するクラスだけでなく学年を越えた教科指導で学習や児童指導の充実を図っています。



吉浜小学校

児童数 587人(男子304人/女子283人)



心豊かでたくましく

四季折々に学校周辺を熱心に写生している子どもたちがいます。におうような新緑の季節、秋は彩り濃い紅葉や銀杏を画用紙に写し取っています。きっと「ふるさと吉浜」を心に描いているのでしょう。四季の彩りを色濃く写している

吉浜小学校は、まさに自然の中にある学校といえます。

本校では「じりつ(自立・自律)をめざす、心豊かでたくましい児童の育成」を学校教育目標にかかげ、各教育活動を展開しています。

また、本年度は、「日本一、いきいきした学校」をスローガンにして、あいさつ運動や仲の良い学級づくりなどを実践しています。

さらに、「上級生が下級生の手本になろう」を合い言葉にして、清掃活動やハイキング、レクリエーションなどを全校を42のたてわりの班に分けて活動しています。1つの班に各学年の子が2~3人

入っていますので縦の人間関係を学ぶ良い機会となっているようです。

10月には、このたてわり班による「ゆめ公園」までのハイキングを楽しんできました。



遠藤 誠校長

学校だより